

# 町長の所信表明に対する質疑

—町長の所信表明に対し、2人の議員が質疑を行い、その内容を質疑者本人が要約して報告します—



五味 雅美 議員

**答** 学力の育成、豊かな心や健やかな体の育成、知・徳・体のバランスの取れた子どもを育む。

で産業育成を。

**答** 未来を支える産業として施策を実施する。

**子どもの可能性を**

**問** 豊かな感性、人権意識、主権者意識を育てる、学力偏重にならない施策を。

**丸建自動車への対応を**

**問** 丸建自動車が民事再生を申し立てた。運転免許証を返上した高齢者も利用しているが。

**答** 高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくことが大事。独自の助成は難しいが、公共性が高いので、近隣市とともに対応していく。

**幅広い国際化対応を**

**問** 外国人に限らず、外国にルーツを持つ、外国に繋がる多様な人を対象に幅広い施策を。

**答** 生活情報の多言語化、多文化共生、国際交流の推進を行う。



上野 克也 議員

**災害に強いまちづくり**

**問** 道路冠水・床下浸水の具体的な対策は。

**答** 伊奈町河川・下水道事業調整協議会で現地調査をした。今後、調節池の活用や管路整備等の浸水対策を推進する。

**問** 原市沼川調節池の有効活用は。

**答** 上の池では桜の植樹や遊歩道整備を上尾市と協議している。

**産業振興のまちづくり**

**問** スーパーシティ構想のまちづくりは。

**答** 検討はしていないが、先端技術を取入れたまちづくりを進める。

**国際化対応のまちづくり**

**問** 今回のコロナウイルス対策で外国の方への対応と支援は。

**答** 町ホームページで、英語・中国語・韓国語・ベトナム語で情報提供、

また健康増進課窓口には英語・中国語の注意喚起リーフレットを設置した。

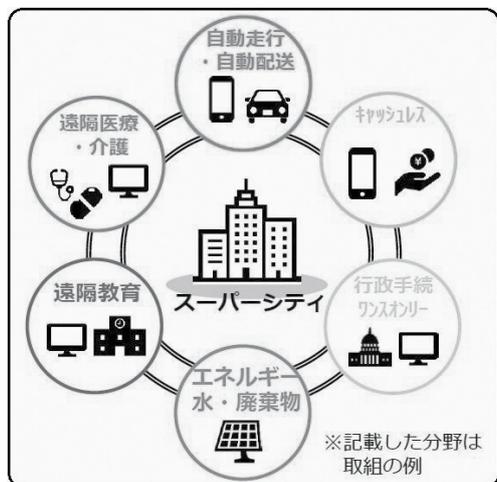
**問** 公的施設での多言語表記、QRコード表示などICT化推進は。

**答** 現在、住民課窓口にスマートフォンを設置し外国人対応に活用。今後ICTの活用を研究していく。



伊奈町の田園

アメリカ言いなりの自由化で食料自給率は下がりが続き38%、先進国では異常な低さです



「スーパーシティ」構想(先端技術)の取組例